



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第144号
令和4年9月20日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

令和4年度 福島県共同募金会 赤い羽根共同募金運動スローガン

優秀賞作品

つなげよう 優しさの羽根 遠くまで

福島県立いわき翠の杜高等学校 2年 根本 はな さん



市内各地での募金活動
(四倉中学校・玉川中学校)

目 次

今年も共同募金にご協力をお願いいたします	2
役立ちました！共同募金	3
報告します 本会の令和3年度事業報告・決算	4 ~ 5
避難行動要支援者マップ作成事業	5
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会

今年も共同募金にご協力をお願いいたします



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会

会長 金成 克哉

毎年、市民の皆さまには、共同募金にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も10月1日から、地域の行政嘱託員、民生委員・児童委員の皆さまをはじめ、多くの団体のご協力をいただき、赤い羽根共同募金運動の募金活動が展開されます。お寄せいただきました募金は、福島県共同募金会の配分委員会の審議を経て、本市の地域福祉を推進する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、障がい者団体さらには大規模災害時の支援や見舞金として配分されています。

また、歳末たすけあい募金は、歳末時期に支援を必要とする世帯に対し、見舞金や介護用品等を支給するための募金であります。

本市共同募金委員会では、民間の社会福祉事業や地域福祉活動への助成を通じ、制度の狭間にある様々な福祉課題の解決に向けて支援するとともに、誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける社会を目指し、関係機関との連携・協働により、福祉のまちづくりに努めて参りますので、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経済環境の中ではございますが、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



共同募金(歳末たすけあい募金を含む)は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から翌年3月31日まで全国一斉に行われます。

令和4年度 いわき市の目標額

赤い羽根共同募金 4,791万1,000円
歳末たすけあい募金 2,484万1,000円

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
- 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金は民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行うため、目標額が設定されています。



© 中央共同募金会

“ありがとう”メッセージ

社会福祉法人みどりのかぜ 生活介護事業所のはら
(災害対策用倉庫及び防災用品整備事業)



(災害対策用倉庫)

私たちは「利用者の皆さまのできることを応援して、できることを支援する」を基本方針に、生活介護事業所として主に知的障がいがある方へ障がい福祉サービスを提供しております。

近年、各地で異常気象による豪雨などの自然災害が頻発するなかで、利用者の皆さまの安全を守り、事業継続をしていくことが事業所に求められている責務です。そこで、今回、共同募金の配分を受け、防災倉庫や非常時における備品等を整備させていただきました。

この配分事業により、利用者の皆さまはもとより、地域の皆さまのお役に立てればと考えております。本当にありがとうございました。

役立ちました！共同募金

令和3年度
実績額

赤い羽根共同募金 4,791万1,579円
歳末たすけあい募金 2,484万1,648円

お寄せいただいた募金は、福島県共同募金会に集められ、配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みになっています。



© 中央共同募金会

いわき市には、総額 5,031万円が配分されました。

① 安心して利用しやすい福祉施設づくりとして12施設へ1,850万円が配分されました。

(単位：万円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
いわき福音協会 光の家	300	空調設備改修事業	障害児通所支援 みにょん	123	屋根及び外壁改修塗装事業
ゴールデンハーブ キルデン	242	送迎用車両（車椅子仕様車）整備事業	ライフサポートセンター 「ゆう・ゆう」	122	送迎用軽自動車整備事業
悠久の里	240	居室洋式トイレ化工事	みどりのかぜ のはら	86	災害対策用倉庫及び 防災用品整備事業
就労支援センター 未来ファーム	232	送迎用車両整備事業	エルファロ 自由空間	55	テーブル・椅子整備事業
ひまわり 生活介護サンリッチ	204	送迎用車両整備事業	かべや福祉作業所 ピースフルかべや	50	災害対策用倉庫及び 防災用品整備事業
なこそ授産所 自立生活きらきら	178	作業室及びトイレ改修事業	ままハート 多機能型重心児デイサービス どりーむず	18	スヌーズレン整備事業

② 社会福祉協議会活動を推進するために3,159万円が配分されました。

(単位：万円)

受配団体名	配分額	配 分 金 の 使 途
いわき市社会福祉協議会	3,159	地域福祉活動・在宅サービス事業など

③ 非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者に22万円が贈られました。

(単位：万円)

受配団体名	配分額	配 分 金 の 使 途
災害見舞金	22	火災による罹災者への見舞金（火災18件）

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額 1,321万円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆さまへ届けられました。(単位：万円)

受配団体名	配分額	配 分 金 の 使 途
見 舞 金	846	生活困窮世帯(527世帯) * 在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	475	防水シーツ(150世帯)や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布、児童養護施設入所者お年玉支給など

報告します

本会の令和3年度事業報告・決算

本会では、第4次地域福祉活動計画に基づき、「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向けて、関係機関・団体などとの協働のもと地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

地域福祉事業

住民支え合い活動づくり事業

第2層協議体会議の開催：13回

住民支え合い生活支援サービスの実施：46件

住民支え合い事業

46地区指定

避難行動要支援者マップ作成事業

10地区

緊急連絡カード（兼）医療情報キット配備事業

配備者数：6,740人

つどいの場創出支援事業の実施

283箇所 実施回数：2,677回

子育てサロモン事業

実施箇所数：17箇所

実施回数：65回

地域子育て支援拠点事業

参加組数：395組

利用者数：大人 1,242人

子ども 1,297人

相談件数：117件

いわき市屋内遊び場

利用者数：大人 4,495人

子ども 5,734人

たすけあい子育てフードバンク事業

新規登録件数：22件

ボランティア活動センター事業

赤い羽根共同募金運動

募金実績額：4,791万1,579円

歳末たすけあい運動

募金実績額：2,484万1,648円

児童・生徒向け福祉体験プログラム

12回

参加児童・生徒数：563人

福祉総合相談センター事業

福祉の仕事相談会

相談件数：9件

ボランティア活動センター事業

心配ごと相談

相談件数：318件

在宅福祉サービス事業

居宅介護支援事業

2,234人

訪問介護事業

508人（4,213回）

訪問入浴介護事業

436人（1,872回）

予防訪問介護事業

280人（1,435回）

障がい福祉サービス事業

212人（1,334回）

利用者数：118人（657回）

身体障がい者訪問入浴サービス事業

118人（657回）

利用者数：212人（1,334回）

障がい福祉サービス事業

212人（1,334回）

利用者数：118人（657回）

身体障がい者訪問入浴サービス事業

118人（657回）

利用者数：9人（60回）

産前・産後ヘルパー派遣事業

9人（60回）

受任件数：7件

法人後見事業

7件

緊急小口資金

貸付件数：1,277件

生活資金

貸付件数：1,255件

総合支援資金

貸付件数：2,448件

緊急小口資金

貸付件数：1,277件

生活福祉資金

貸付件数：71件

生活支援資金

貸付件数：1,546万3,000円

生活支援相談員の配置

1人

対象世帯数：32世帯（966回訪問）

交流会実施回数：29回（241人参加）

見守り支援員の配置

3人

車椅子同乗移送用自動車の貸し出し

利用件数：315件

募金運動の推進

赤い羽根共同募金運動

募金実績額：4,791万1,579円

歳末たすけあい運動

募金実績額：2,484万1,648円

ボランティア活動センター事業

心配ごと相談

相談件数：49件

児童・生徒向け福祉体験プログラム

12回

ボランティア活動センター事業

無料法律相談

相談件数：70件

ふれあい相談

相談件数：4,293件

ボランティア活動センター事業

心配ごと相談

相談件数：318件

ボランティア活動センター事業

ふれあい相談

相談件数：49件

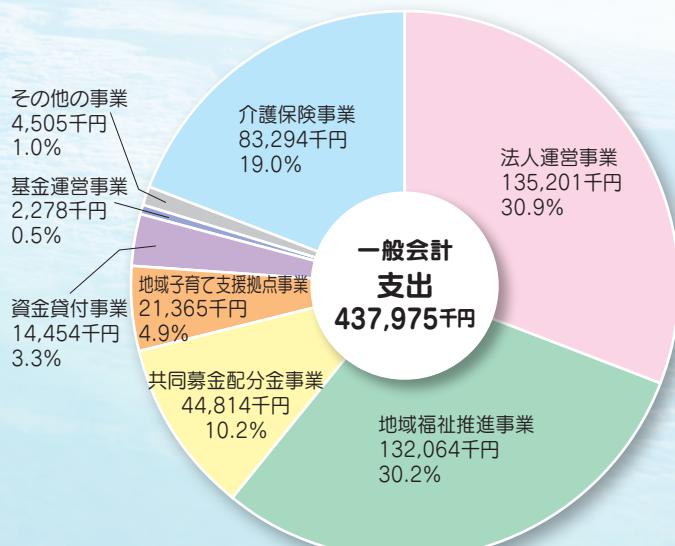
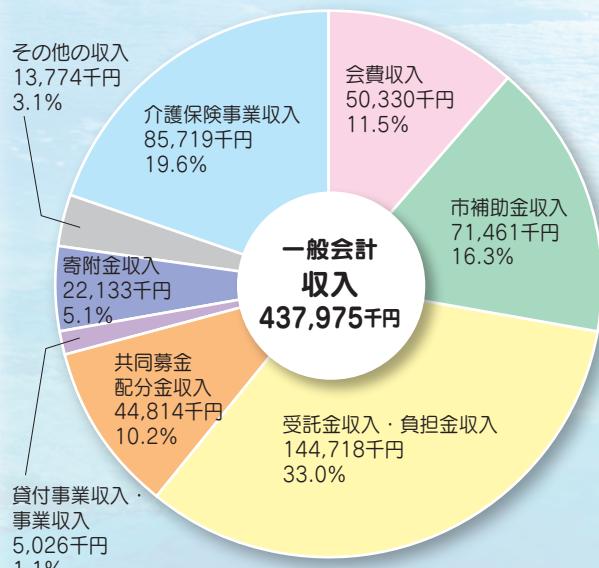
ボランティア活動センター事業

心配ごと相談

相談件数：49件



令和3年度 収支・支出のあらまし



避難行動要支援者マップ作成事業

日頃から地域住民が自主的に支え合い支援していく仕組みづくりを進めるため、避難行動要支援者マップ作成事業（市受託事業）を実施しています。

この事業では、地域の関係機関・団体等の協力を得ながら、災害時に援護を要する方や日常的に支援を必要とする方（緊急連絡カード（兼）医療情報キットを配備している世帯等）を把握し、避難所の場所、周辺の施設等、避難方法、地域の支援者の方等を標記した地図を作成しており、令和3年度までに115地区で作成し、作成したマップの見直しを行いながら防災訓練等で活用しています。

令和4年度は11地区で作成を予定しています。

普段からの見守りが
災害時の支え合いへ



<中田9区>

■令和4年度マップ作成予定地区一覧

平	赤井	四倉	四倉2・3区
小名浜	上神白	小川	関場
勿来	中田9区	遠野	滝
常磐	斑堂／下船尾	好間	中好間
内郷	白水6区	川前	沢尻



ボランティア活動センター通信

市内6校から17名が参加!

第31回 サマーショートボランティアスクールを開催!!

高校生を対象に、夏休みの3日間、市内の福祉施設等でボランティア体験を行い、自分たちが住む地域社会の福祉の現状や課題を理解し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため福祉施設等での体験が困難なことから、参加者を8月8日(月)と9日(火)の2日間に分け、いわき市社会福祉センターにおいて開催しました。はじめに、勿来高等学校の生徒4名から、同世代が取り組むボランティア活動の事例として「介護ボランティアを通して学んだこと」「駅前清掃(関の子ボランティア)の実施について」発表を聞きました。

また、市地域包括ケア推進課職員2名から、認知症への理解を深めるための講話とVR認知症体験(バーチャルリアリティ機器を装着し、認知症の症状を本人視点で体験するもの)を行いました。

参加した学生は、ボランティア活動への参加意欲を高めるとともに、自分たちに何ができるのか考えるきっかけになつたようでした。



勿来高等学校生徒さんの事例発表



VR認知症体験

★参加高等学校

磐城高等学校	磐城桜が丘高等学校	いわき総合高等学校
いわき湯本高等学校	平商業高等学校	勿来工業高等学校

(敬称は省略させていただきました)

児童・生徒向け福祉体験プログラムについて

市内の小・中・高校を対象に、各種福祉体験プログラムを実施しています。お気軽にご相談ください。

プログラム	内 容
高齢者疑似体験	高齢者疑似体験セットや車いすを無料で貸し出します。
福祉講話	本会職員による福祉の様々な講話を行います。
手話体験	手話サークルによる手話体験をします。



※高齢者疑似体験及び福祉講話は、企業・団体にも実施しておりますのでご相談ください。

お問い合わせ先 ボランティア活動センター ☎38-6631まで



生活・就労支援センター

生活・就労支援センターでは、生活や仕事のことなどでお困りの方からの相談を受け、困りごとの解決に向けて、一人ひとりの生活状況に合わせた支援先の紹介を行ったり、支援プランを作成する等、解決に向けて、継続的なサポートを行っています。

どんなことでも相談してください。



仕事が見つからない



引きこもりの子どもの将来が不安



借金の返済で生活が苦しい



お金がなくて病院に行けない



収入がなく家賃が払えない

課題解決に向けて各種支援関係機関と連携しながら支援します。

お問い合わせ先 生活・就労支援センター ☎38-6500まで

✉ seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

お困りごとはありますか？

皆さん、日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い・助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しています。

普段の生活の中で、ゴミ出しや電球交換などでお困りの方やどんなサービスがあるのかを知りたい方は、最寄りの地区協議会まで、お気軽にお問い合わせください。

また、支え合いサポーター（ボランティア）として活動にご協力いただける方も募集しておりますので、ぜひご連絡ください。



お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320代まで

生活困窮者生活サポート事業への寄贈ありがとうございました。

これらの寄贈品は生活困窮者生活サポート事業等で活用させていただきます。

生活協同組合パルシステム福島様

令和4年7月6日、森を守るために行う間伐によって出た木材で作られた積み木50セットと同社が独自開発した、さんまの缶詰の寄付をいただきました。



株式会社マルハン いわき店様

令和4年8月10日、社会貢献活動の一環として来店者から寄せられた景品（菓子類）の寄付をいただきました。



地 区 協 議 会 だ よ り

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

小名浜地区協議会 (青少年福祉体験学習)



高齢者や障がい者等への理解を深め、優しい心で接することを目的に、6月23日泉北小学校4年生を対象に開催しました。

いわき聴力障がい者会、いわき手話サークルの協力により手話体験を行い、挨拶や自己紹介の仕方を学びました。

◆小名浜地区協議会 ☎54-2111(代)

小川地区協議会 (高齢者いきいき訪問事業)



民生委員・児童委員の協力により、8月から地区内の70歳以上の人一人暮らし高齢者と高齢者のみ世帯(253世帯)を訪問しました。

水分補給の麦茶を届けながら、熱中症の注意喚起と福祉サービスに関する情報の提供を行いました。

◆小川地区協議会 ☎83-1111(代)

三和地区協議会 (福祉推進委員視察研修)



福祉推進委員(15名)が地域の福祉活動に役立てる目的に6月17日、「就労継続支援B型事業所 鮫川たんぽぽの家」を訪問しました。

同事業所では、障がい者に対して、うどんや野菜などの生産活動を通じた就労訓練を行っています。この研修により障がい者への理解を深めるとともに今後の活動の参考になったようでした。

◆三和地区協議会 ☎86-2111(代)

川前地区協議会 (地域高齢者交流事業)



地区内の高齢者の方々が、明るく、生きがいのある生活を送ることを目的に、運動やコミュニケーションの場として4月～12月の期間、川前公民館において開催しています。

地区内の「さくらまつり」や「敬老会」、市老人クラブ連合会主催の「芸能祭」等の発表に向か、交流を深めながら頑張っています。

◆川前地区協議会 ☎84-2111(代)

社協だより記事訂正のお知らせ

社協だより143号(令和4年7月8日発行)の掲載内容に誤りがございました。

7頁中段「いわき市社会福祉協議会の新たな理事・評議員を紹介します」右の表(新旧評議員)において、新評議員として「中根とも子」様の記載がありますが、正しくは「中根まり子」様となります。謹んでお詫び申し上げます。



編集後記

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。赤い羽根共同募金は、子どもや高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や災害・復興支援活動に役立てられています。地域を支える募金として、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽に寄せください。
住所: いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協
ホームページ